



LOMの運動に使える
KANCHIKU
PROPOSAL

第72回関東地区大会とちぎ大会

共生型社会構築委員会の事業“夏でもいちご!!いちごサマーフェスティバル”にご参加いただきありがとうございます。

この資料は、LOMの本年度や次年度の運動構築に向けた提案書です。

LOMの管轄地域の**人口減少による担い手不足解消**に関する運動の例会や事業に使えます。

議案作成や基本方針、所信などのヒントとしてご利用ください。

人口減少による担い手不足解消 における現状の課題

現在、日本の人口は減少の一途を辿っており、その影響を受け様々な産業で担い手不足が深刻化しております。そういった中で持続可能な社会を築いていくためには、デジタルやAIを駆使することで、ヒトの数に影響されずに生産量や品質を向上させていく仕組みを業種や分野の枠を越えて構築していく必要があります

課題の解決に向けた目的

スマート農業の体験を通して、人口減少による担い手不足の解消方法としてデジタルや最新AI技術の導入が有効であるということを様々な分野に従事している方々が理解することで、社会全体としてDX化を加速させていくことを目的とします。

今回ご参加いただいた事業について

「地域の特産品 × 本来発信したいもの × ヒトが集まる要素」

この3つを掛け合わせることで、“強く発信していきたいがそれ単体では発信力が弱いもの(ネタとしてフックが弱い)”を広く発信することができるというモデルコース構築を目指しています。

⇒日本全国どの地域でもそれぞれの要素に置き換えることで、このモデルケースを活用して運動展開をすることが可能！

《今回の掛け合わせ》

本来発信したいもの:DX化やAIの担い手不足解消における有用性

×

地域の特産品:栃木県が誇る生産量全国No.1のいちご 🍓

×

ヒトが集まる要素:ミスいちご2023(総SNSフォロワー数No.1アイドル)



共生型社会構築委員会のこれまでの運動

2/10(土)@東京都狛江市

「地域をつなぎ、未来をつなぐ～地域プラットフォーム推進セミナー～」

地域同士の新たな連携創出を目指して、アクセンチュア株式会社村井様、オマツリジャパン株式会社加藤様を講師としてお招きし、異業種と異分野が協働しあらゆる地域課題を解決するための地域プラットフォームの形成と連携がもたらす未来についてセミナーを開催いたしました。

5/26(日)@群馬県富岡市

「富岡市空き店舗&リノベーション体験ツアー」※類似事業提案用データパッケージ配布中

関東地区内で人口減少が深刻化している地域を活動エリアとしているLOMに対して、東京圏への人口集中の解消につながる事業モデルを発信することで、一極集中の解消に向けた社会的風土を醸成することを目指して、“地方で移住・開業したい東京圏在住のヒト”をターゲットに群馬県富岡市にて空き店舗とリノベーション店舗を回るマチ歩きツアーを開催いたしました。

共生型社会構築委員会からLOMの皆さまへ こんな運動に使えるよ！のススメ

5/26(日)@群馬県富岡市

「富岡市空き店舗&リノベーション体験ツアー」※類似事業提案用データパッケージ配布中

- ・他地域からヒトを移住させることを目的とした事業
- ・移住促進や空き家問題に対する行政の縦割りなどの仕組み的問題点を解決するための事業

7/6(土)@栃木県栃木市

「夏でもいちご!!いちごサマーフェスティバル」

- ・地域の特産品を打ち出していくための事業
- ・地域の隠れた魅力を広く発信するための事業
- ・単体では発信が難しいコトやモノを多くのヒトに発信するための事業



最後に…

共生型社会構築委員会とは？

私たちの目的は？

地域の特性を活かした地域間連携による共生型社会を実現すること

なぜ共生型社会構築委員会が設立されたのか？

現在、首都圏は少子高齢化と人口減少、東京圏へのヒト、モノ、カネ、情報の一極集中により、生活環境の悪化、格差の広がり、生産年齢の人口減少等の様々な問題を抱えています。これらの問題を複合的に解決していくためには、首都圏内の環境・経済・社会の統合的な向上を目指し、各地域の資源を有効活用しながら自然と人、地域と地域をネットワーク化することで、各地域の連携による持続可能な共生型社会を構築することが必要だからです。



お問い合わせはこちら！

共生型社会構築委員会

委員長 大関 虎之介(つくばJC所属)

TEL:090-9820-6787

MAIL:toranosukeoz@con-course.jp

